



NEWSLETTER

2

地域連携懇話会を開催しました

2026.



多職種連携で「身寄りのない患者支援」を考える～現場の声から見える課題～

令和7年11月14日、京王プラザホテル札幌において「令和7年度地域連携懇話会」を開催しました。「ひとりも取り残さない支援を目指して～多職種で向き合う、身寄りのない患者さんの連携と課題～」をテーマに、医療・福祉・行政の各分野から173名、81施設と多数の方にご参加いただき、大変な盛会となりました。



南須原病院長による講演

第1部では、当院救命救急センターの和田部長、地域医療連携福祉センターの杉本MSWに加え、愛全病院の齋藤様、札幌市保健福祉局の向瀬様から、それぞれの現場における課題と取り組みについてご発表いただきました。また、パネルディスカッションでは、札幌市社会福祉協議会の小松様も加わり、「連携のグレーゾーン」について活発な議論が交わされました。



榊原センター長による講演

地域の医療機関の皆様への感謝と北大病院の役割

～さらなる連携の深化に向けて～

第2部では、南須原病院長が「北海道の地域医療を支える北大病院の役割」について、と榊原地域医療連携福祉センター長が、「地域の医療機関の皆様との理想的な連携のあり方」について講演しました。参加者アンケートでは、「様々な立場からの講演が聞けてよかった」「顔の見える連携の機会として大変ありがたい」など、多くのご意見をいただきました。当院では、引き続き地域の医療機関の皆様との連携を深め、誰一人取り残さない医療の実現に向けて取り組んでまいります。



懇親会の様子

消化器外科 I

2-3ページ

地域に寄り添う高度医療

～消化器外科 I 各グループの紹介～

循環器内科

4-5ページ

集学的最先端治療技術を用いて、

あらゆる循環器疾患に最適解を

クラウンブリッジ歯科

6ページ

医科歯科連携で睡眠時無呼吸治療に挑む！

歯科麻酔科

7ページ

全身疾患・歯科恐怖症... あらゆる患者様に安心を

地域に寄り添う高度医療 ~消化器外科 I 各グループの紹介~



教授 武富 紹信

- 消化器疾患(肝臓、下部消化管)
- 肝臓・膵移植医療
- 小児外科疾患

に対する高度先進的な外科治療は、
“消化器外科 I”が担当しております。

肝臓・移植グループ

切除困難・難治性肝臓症例、移植適応症例、年間120例!

当科は、肝胆膵高度技能医4名、内視鏡技術認定医5名、移植認定医5名を擁し、質の高い肝臓・移植医療を提供しております。通常の施設では切除不能とされる巨大・多発肝腫瘍に対する集学的治療や、肝不全に対する脳死/生体肝移植をてがけ、7割以上の肝切除を低侵襲手術(ロボット支援下、腹腔鏡下)で行い高い安全性を維持しております。

私たちが担当
しております。



武富 紹信



柿坂 達彦
(チーフ)



後藤 一



渡辺 正明



川村 典生



長津 明久



相山 健



藤好 直



坂本 譲



志智 俊介



本件に関するお問合せ先

011-706-5843 (平日8:30~17:00)

患者様ひとりひとりに最善の
治療法を見つけたいです。

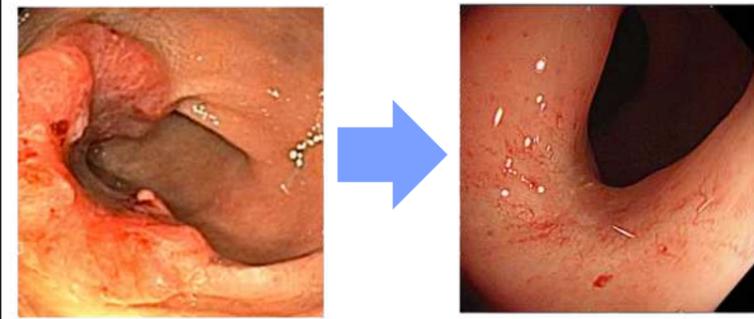
消化管グループ



大腸癌に対する最先端治療

当院の大腸癌手術は、道内でも極めて低い合併症率を誇ります。根治性と機能温存の両立を目指し、ロボット支援手術から拡大切除まで幅広く行っております。直腸癌には集学的治療を導入し、奏功例では手術を行わず直腸温存を目指す戦略(Non-operative Management)も採用しています。

術前療法が完全奏功した症例



市川 伸樹
(チーフ)



吉田 雅



大野 陽介



柴田 賢吾



今泉 健



佐野 峻司

小児グループ



幅広い年齢層・疾患を対象に小児外科疾患を診療しています

小児外科では、生後0日の新生児から時に成人まで、便秘や虫垂炎・鼠径ヘルニア等の日常疾患から悪性腫瘍まで手術治療を行っています。近年は小児内視鏡技術認定医指導のもと、低侵襲で整容性に優れた手術も積極的に導入しています。小児外科疾患でお困りの際はお気軽にご相談ください。

頭頸部から直腸・肛門領域に
およぶ広い範囲の疾患を
取り扱っています。



腹腔鏡下胆道拡張症根治術



坂村 颯真 河原 仁守 (チーフ) 荒 桃子 奥村 一慶

消化管グループ・症例相談専用回線 080-1706-8030

小児グループ・24時間ダイレクトコール 090-6699-4394

集学的最先端治療技術を用いて、あらゆる循環器疾患に最適解を



教授 安斉 俊久

私達、“北大循環器内科”は北海道の最後の砦として、あらゆる循環器疾患に対応可能です。

- ✔ すべての循環器疾患に対応
 - 循環器疾患に幅広く対応し、地域の命を支える体制を整えています。
- ✔ 専門チームが最先端治療を提供
 - 各分野の専門家が最新技術を活用し、高度な医療を実践しています。
- ✔ 循環器疾患でお困りの際はぜひご紹介を
 - 地域医療機関と連携しながら安心と信頼の医療をお届けします。

心不全・心臓カテーテル班



診療教授 永井 利幸



特任講師 神谷 究



講師 多田 篤司



診療講師 小林 雄太

多職種連携による難治性心筋症・重症心不全・心臓移植・緩和ケアまで切れ目のない診療

北海道で唯一の心臓移植実施施設として、道内全域から難治性心筋症や重症心不全患者を受け入れています。2023年からはdestination therapy (DT) 適応としての植込み型補助人工心臓 (LVAD) 治療も開始し、移植待機適応外の重症心不全にも対応可能となりました。循環器内科医・心臓血管外科医師・看護師・理学療法士・管理栄養士・薬剤師が中心となり密に連携し、運動療法や食事指導、服薬管理、セルフケア支援を基盤とした包括的診療を行っています。

急性冠症候群・構造的な心疾患に対する最先端治療

当院は札幌市内の三次救急を担当し、重症虚血性心疾患に対して経皮的な心臓補助装置やIMPELLAを用いたカテーテル治療を迅速に行い、救命率向上に努めています。

さらに道内では早期に構造的な心疾患に対する低侵襲治療を導入し、大動脈弁狭窄症への経カテーテル大動脈弁留置術、僧帽弁閉鎖不全症への経皮的修復術、心房中隔欠損症へのカテーテル治療などを実施しています。手術翌日から歩行可能で、術後1週間以内に退院できるなど、外科手術困難な患者様にも身体負担の少ない最先端治療を提供しています。



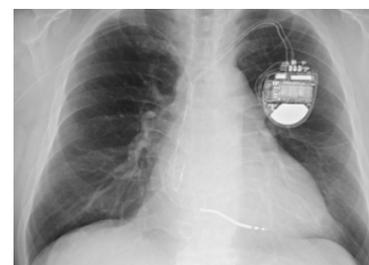
経カテーテル心房中隔欠損症閉鎖術

不整脈班

不整脈に対する最先端治療

我々不整脈班は、豊富な経験と科学的根拠に基づき、患者様一人ひとりに最適な治療法を提供することを目指しています。

2025年7月より、心房細動に対する最先端治療である**パルスフィールドアブレーション**を導入しました。本治療は従来法と比較して、食道や神経などの周辺臓器への合併症が少なく、より安全な治療が可能です。全身麻酔下で行うため患者様の負担も軽く、術後1~2日で退院が可能です。



植込み型除細動器植込み後

当院では、特に生命の危険に直面する頻脈性不整脈や心不全に対し、**植込み型除細動器や心臓再同期療法を含むデバイス治療**に積極的に取り組んでいます。特に、生命の危機に直面する心室性不整脈に対しては、札幌市内のみならず全道各地からご紹介をいただき、カテーテルアブレーションとデバイス治療を融合させた包括的な治療アプローチを提供しています。



診療講師 天満 太郎



講師 甲谷 太郎



パルスフィールドアブレーションの様子

心エコー班

3次元心エコーを用いた病態把握と術中ガイド

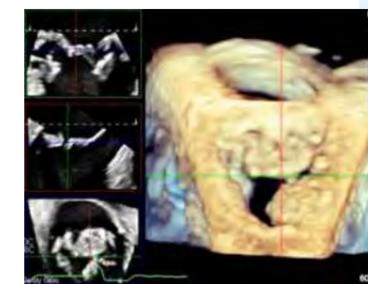
我々心エコー班は、最新の科学的根拠に基づき、高度な画像診断技術を通じて患者様に最適な医療を提供することを目指しています。

最新鋭のエコー装置を用いて、高精細な3次元画像を用いた評価を行っています。リアルタイムの画像構築が可能であり、診断検査のみならず、弁膜症のカテーテル治療時のガイドにも欠かせないモダリティとなっています。また負荷心エコーを用いた運動時の心評価も積極的に行っています。運動負荷心エコーはエルゴメーター負荷を用いて症状出現時の負荷を再現することで、息切れなどの原因をより的確に突き止めます。

当院では各専門班と緊密に連携し、精緻な画像評価を軸とした包括的な循環器診療を提供してまいります。



診療講師 石坂 健



3D エコー



運動負荷心エコー

重症例に限らず、
日常的な循環器疾患や診断に迷う症例でも、
どうぞ気軽にご相談ください！



本件に関するお問合せ先

TEL.011-706-6973 / FAX. 011-706-7874 (平日8:30~17:00)

メールでのお問い合わせはこちら

HPアドレス : <https://cvhp.med.hokudai.ac.jp/network/>





➤ 医科歯科連携で睡眠時無呼吸治療に挑む！

👤 歯科医師紹介



教授
黒嶋 伸一郎



准教授
上田 康夫



助教
中島 利徳



助教
水野 麻梨子



私が治療の
窓口となっています

助教
斎藤 未来



講師
前田 正名



助教
山田 恭子



助教
石丸 智也

➤ CPAPコンプライアンスが不良の患者様でも
口腔内装置(OA)療法が奏功する可能性あり！！

2004年4月から睡眠時無呼吸に対する歯科における口腔内装置(OA)治療が保険適用となりました。睡眠時無呼吸治療の第一選択はCPAPですが、それに満たない無呼吸低呼吸指数(AHI)5~20である軽症~中等症の症例はOA療法の適応です。

AHIが20を超える中等症や30以上の重症例でも、OA療法でAHIが半減または軽症程度まで改善する場合があります。下顎の後退が認められる場合や仰臥位でのAHIが高値である場合、奏功しやすいと報告されています。OA療法はCPAPと比較して、充電も不要で軽量かつコンパクトなため、外泊時にも使用でき、コンプライアンスを得やすい装置です。



👤 OA装着後のフォローもお任せください！



当院では、上下顎を完全固定する固定型OAのみならず、上下顎をコネクターでつなぐ分離型OAも取り扱っています。固定型は顎の動きが制限されますが、分離型は開口や横への動きがある程度許容される利点があり、固定型が使用できない場合でも、奏効するケースがあります。

OA装着後も、効果や副作用発生の有無など継続的な管理を致します。異変がありましたらすぐにご紹介元へご連絡して密に連携させて頂くことで、治療効果を継続的にモニタリングすることが可能です。

睡眠時無呼吸治療にお困りの患者様

がいらっしゃいましたら、

ぜひ一度当科をご紹介ください。



本件に関するお問合せ先

☎ 011-706-4343 (平日9:00~17:00)



➤ 全身疾患・歯科恐怖症... あらゆる患者様に安心を

👤 歯科医師紹介



しぶや まきこ
渋谷 真希子

講師・外来医長 (歯科麻酔学教室)

歯科麻酔専門外来では、年間約800例前後の全身管理を行っています。患者様に応じて、全身麻酔、静脈内鎮静法、亜酸化窒素(笑気)吸入鎮静法など様々な方法を用いて、恐怖や不安なく円滑かつ安全に歯科治療が行えるようにしています。

➤ 歯科麻酔専門外来での安全な歯科医療

歯科麻酔専門外来は、全身疾患や、歯科治療に対する恐怖心、異常絞扼反射(オエツとしやすい)、特別な配慮を要する患者様など、一般の歯科では治療が困難で、全身管理が必要な患者様の歯科治療を、安全に実施する全身管理の専門部署です。



治療中の様子

👤 専門治療がもたらすメリット

- **専門管理** : 歯科麻酔認定医・専門医の知識と技術で全身状態を管理し、偶発症リスクを低減します。
- **患者負担軽減** : 全身麻酔や静脈内鎮静法により、患者様は苦痛や不安なく治療を完遂できます。
- **高度な安全管理** : 大学病院の充実した医療機器を使用し、万全な管理体制の下で、継続的な全身管理を行います。

👤 専門治療が適応となる患者様とは？

- 歯科恐怖症や異常絞扼反射により、通常の歯科治療が困難な患者様
- 循環器疾患、呼吸器疾患、脳血管疾患など、全身管理が必要な**基礎疾患をお持ちの患者様**
- 知的能力障がいや発達障がいにより、治療中の安静確保が難しい患者様
- 侵襲性の高い口腔外科手術やインプラント手術などを、安全にストレスを少なく行いたい患者様



治療に際し、全身管理が必要な患者様

がいらっしゃいましたら、

ぜひ当科にご相談ください。

本件に関するお問合せ先

☎ 011-706-4345 (平日9:00~17:00)

医療機関からの紹介予約について

北大病院 紹介予約



患者さんを北大病院へ紹介いただく場合はFAXにてお申し込みください。

受付曜日：月～金

受付時間：8時30分～17時00分（16時30分以降の受付は翌日対応になります。）

※翌日の予約は15時00分までにお申し込みください。

電話番号：011-706-6037

FAX番号：011-706-7963

医事課新来予約受付担当・紹介予約

患者さんからの予約申し込み方法

[予約受付専用窓口]

TEL. 011-706-7733

精神科神経科受診の場合は、

011-716-1161（代表）にお電話をお掛けください。

リハビリテーション科受診の場合は、

011-716-1161（代表）にお電話をお掛けいただき

「リハビリテーション科受診予約希望」の旨をお伝えください。

[予約受付時間]

平日9時00分～16時00分（翌日の予約受付は15時00分まで）

電話予約の際は以下の内容を確認させていただきます

- 氏名
- 性別
- 生年月日
- 連絡先（住所・電話番号）
- 受診希望の診療科
- 北大病院の受診
- 紹介元医療機関名
- 紹介状に記載の宛名

information ID-LinkによるICT連携のご案内

当院では、患者さんの診療情報を共有する地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」を導入しております。

この度、地域の医療機関の皆さまへの情報提供を開始いたしましたので、お知らせします。また、ID-Linkを通じた情報共有を推進しており、連携機関の拡充を図っております。

つきましては、当院へご紹介いただいております患者さんの診療情報の参照を希望される場合は、下記申請フォームにてご申請くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、当院地域医療連携福祉センターのHPより、ご確認ください。

閲覧可能な情報

入退院情報・処方・注射・検体検査・DICOM画像・放射線検査オーダ・生理検査・食事・内視鏡検査退院時要約・簡易サマリ（病名・アレルギー）・身長、体重、血液型



申請はこちらから